



2016 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ

ricca ricca \* festa



# りっかりっか\*フェスタ

りっかりっか\*フェスタ（国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ）は、2005年より毎年夏に沖縄で開催されているファミリー向けの国際舞台芸術フェスティバルです。演劇、ダンス、人形劇、フィジカルシアター、サーカスなどさまざまなジャンルの質の高い作品を、日本、アジア、世界から招き上演します。

公演プログラムに加え、シンポジウムやワークショップなどのイベントの開催、レジデンスや国際共同制作などの企画も行っています。



## フェスティバルの歴史

国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわは、1994年に沖縄本島中部の市町村で開催されたフェスティバルがもととなっています。その後数回の小規模な開催を経て、2005年に沖縄市をメイン会場としたフェスティバル（愛称：キジムナーフェスタ）として再スタートしました。ちょうど、沖縄戦（第2次世界大戦）後60年目のことでした。以来、毎年夏に開催されています。再開して10周年となる2014年にはメイン会場を那覇に移し、長く寄せられていた要望に応える形で一部作品の東京でのサテライト上演も開始しました。2015年、フェスティバルの新たな10年を始めるにあたり、新しい愛称「りっかりっか\*フェスタ」を採用しました。「りっかりっか」は、沖縄の方言で「さぁ行きましょう」という意味。「みんなでフェスティバルに行きましょう」という意味が込められています。

2012年には、80カ国以上が加盟する児童青少年演劇の世界的なネットワーク・アシテジ（国際児童青少年演劇協会）による第1回アシテジ世界ミーティングの開催地に選ばれるなど、世界からも注目されているフェスティバルです。質の高いプログラムに定評があり、海外作品の多くは日本もしくはアジアで初めて上演されるものが多く、国内外から毎年多くのフェスティバルプロデューサーやプレゼンターが集まる見本市の役割も果たしています。また、参加するアーティストにとっての出会い・交流の場でもあり、フェスティバルで出会った違う国のアーティストがその後作品を一緒に作る、ということも起こっています。

沖縄の地理的・歴史的背景もあり、フェスティバルは開催当初より東アジア・東南アジアとのつながりが強く、作品の招聘、共同制作、シンポジウムなど、さまざまな形で活発な交流が行われています。2015年には国際交流基金アジアセンターとの共催により、「アジア多国籍劇団\*りっか」としてアジアのアーティストとの共同制作『小さな紳士～アジア伝統楽器バージョン～』の創作・上演、そしてアジアのプロデューサーや制作者を招待し実践的な交流をはかるレジデンスプログラムを開催しました。

フェスティバルのこれまでの招待作品やプログラムについては、フェスティバルウェブサイトの「アーカイブ」ページをご覧ください。

## フェスティバルの目的

りっかりっか\*フェスタは、さまざまなフェスティバルプログラムを通じた仲間との共通体験により、互いに理解し尊重しあう心を育み、友情を深め、豊かな感性・想像力・人間性を育てていくことを目的としています。「イチャリバチョーデー(一度会ったら人は皆兄弟)」、「万国津梁(海外交流によって万国の架け橋となる)」という沖縄の精神を世界の人々と共有し、子どもたちとともに平和な世界への歩みを進めます。フェスティバルは地域のコミュニティと世界のアーティストの出会いの場に、そして日本における文化活動の新たなプラットフォームとなっています。

このフェスティバルの目的は、家族や友人と感情体験を共有することです。子どもたちは作品の鑑賞やアーティストとの交流を通して、言葉を越えた関係性を作り上げます。大人たちは作品にじっと見入る子どもの表情に驚き、感動します。フェスティバルは、世界の芸術文化と、生まれ育った日本の芸術文化を愛する心を育みます。



## フェスティバルのミッション

### 親子で感動体験、家族で感動体験、仲間で感動体験

児童・青少年に質の高い舞台作品を届け、彼らが家族・友人とさまざまな感動体験を共有することで豊かな心と感性を育むことができる場を提供するため、フェスティバルを毎年継続開催します

### イチャリバチョーデー・万国津梁

国籍、文化、言語、障がいなど、さまざまな違いを持った人が集まるフェスティバルというひとつのコミュニティで、お互いを認め、受け入れ、肯定できる安全な環境を作り対話を促すことで、平和な世界への歩みを進めます

### アジアにおける国際文化交流の拠点

沖縄の歴史的・地理的背景を捉え、沖縄、日本、アジア、そして世界の芸術文化とその創造者が出会い、つながり、刺激しあえる場所を創出し、児童青少年演劇の可能性が生まれ広がっていくハブとなります

### 創造性に富んだ人材の育成

観客、ボランティア、出演者、スタッフ、企画参加などさまざまなフェスティバルとの関わりを通じて地域的かつ国際的に幅広い視野を持ち、積極的に他者と関わっていける創造性に富んだ人材を育てます

## フェスティバルのテーマ：劇場は命葉（ヌチグスイ）

『劇場は命葉（ヌチグスイ）』

「命どっ宝」は沖縄の心

どんな困難の中にあっても、命を守り、継いでゆく

「命どっ宝」を支えてくれるのが「命葉」

「命葉」は心を、命を育みます

ヌチグスイとは、沖縄の方言で「命の葉」「長寿の葉」という意味です。クスイはクスリでもただの葉ではない、心の葉、栄養剤のことです。感動的な舞台を観た後など、沖縄の人々は「今日はヌチグスイしたさあ!」と声に出します。

同じ空間で同じ時に、喜びや悲しみ、感動を一緒に体験できる不思議な場所が、劇場です。作品を創ったアーティストの想いが届くように、フェスティバルスタッフが心を込めて創り上げた空間で、私たちはさまざまな人生を、想いを、生きることの愛しさを共有します。

私たちは、劇場はたくさんの感情を共有できる場所だと信じています。家族と、友達と、大切な人たちと豊かな時間を過ごしてもらうことを願い、フェスティバルを開催しています。

## フェスティバルキャラクター



フェスティバルのキャラクターは、がじゅまるの木に住むとされる沖縄の精霊「キジムナー」。

1994年に初めて国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわが開催されることが決まった際に、沖縄のアーティスト名嘉睦稔氏がデザインし、プロデューサーの下山久にプレゼントされたものです。



## ATYA: アジア児童青少年演劇フェスティバルネットワーク



ATYA (Asian Alliance of Theatre Festivals for Young Audiences / アジア児童青少年演劇フェスティバルネットワーク) は、アジアの児童青少年演劇を、フェスティバルによって発展させ、世界へ広めていくことを目的につくられたオープンネットワークです。

現在東アジア、東南アジアを中心に12団体が加盟し、プログラムの共有や共同制作企画などで協力するほか、フェスティバルの役割や運営について意見交換を行い、アジア全体のTYAへの意識を高めていくために活動を行っています。

2013年よりりっかりっか\*フェスタが議長フェスティバルをつとめ、就任以来5団体（中国3団体、シンガポール、フィリピン各1団体）が新たに加盟するなどネットワークのさらなる発展に貢献しています。

ATYAウェブサイト：[atyafests.net](http://atyafests.net)

### 2016年2月現在のATYA加盟団体

1. りっかりっか\*フェスタ（沖縄／日本）：議長
2. プンフェスティバル（ハソン／韓国）
3. アシテジ韓国フェスティバル（ソウル／韓国）
4. 高雄市児童芸術教育フェスティバル  
（高雄／台湾）
5. キムチョン国際家族演劇祭（キムチョン／韓国）
6. 中国演出行業協会（北京／中国）
7. 上海国際児童演劇フェスティバル（上海／中国）
8. 明日藝術教育機構（香港）
9. A.C.Orange／オレンジキャッスルシアター  
（深圳／中国）
10. エース！フェスティバル／アイ・シアター  
（シンガポール）
11. PETA：フィリピン演劇教育協会  
（マニラ／フィリピン）
12. the A.S.K.：アートスペースフォーキッズ  
（上海／中国）



## 国際共同制作について

国際共同制作は、りっかりっか\*フェスタのユニークな取り組みのひとつです。共同制作を継続して企画することによりアーティストのネットワークを拡大し、フェスティバルを活動拠点とする多国籍劇団を設立することを目指しています。2015年には国際交流基金アジアセンターとの共催により「アジア多国籍劇団\*りっか」をスタートさせ『小さな紳士』をアジアのアーティストとの共同制作により創作・上演しました。今後、アジア各地の演劇を観る機会の少ない子どもたちのための巡回公演を行うことを目指しています。

### これまでの主な国際共同制作作品



『小さな紳士  
～アジア伝統楽器ver.～』  
2015年／アジア共同制作



『小さな紳士～弦楽四重奏ver.～』  
2006年・2009年・2015年／  
日本・スウェーデン  
・中国（2015年）



『オオカミとヤギ  
～あらしのよるにより～』  
2011年・2012年・2015年／  
イタリア・日本



『どうして?どうして?』  
2014年／シンガポール・香港・日本



『さまよう影』  
2013年／ジンバブエ・デンマーク・  
メキシコ・日本



『クエスト』  
2013年／台湾・イギリス・日本



『ラン』  
2012年／台湾・韓国・ベルギー・日本



『スーパーヒーロー』  
2012年／クロアチア・韓国・台湾・  
香港・オーストリア・ロシア・日本



『ヨーグルトをさがして』  
2009年／イギリス・韓国・日本

## フェスティバルの統計（2005-2015）

	国と地域	公演			セミナー	シンポジウム	ワークショップ	その他	参加者数
		団体	作品	公演数					
2005	13	18	19	63	-	2	2	-	15,809
2006	13	29	35	112	-	2	9	-	19,612
2007	15	39	46	130	10	3	11	-	31,360
2008	12	44	43	129	11	4	9	-	31,833
2009	17	48	50	141	5	5	10	1	34,226
2010	19	31	31	90	3	2	4	1	28,863
2011	14	44	51	170	4	4	10	3	31,120
2012*	42	70	86	230	5	7	15	4	39,765
2013	23	38	39	130	-	3	4	4	32,000
2014	22	26	29	102	-	6	2	1	25,000
2015**	27	35	38	126	8	3	2	1	15,000
<b>Total</b>	217	422	467	1423	46	41	78	15	304,588

\*2012年：アシテジ世界ミーティング開催

\*\*2015年：フェスティバルのメイン会場を沖縄市から那覇市に移動

### りっかりっか\*フェスタ事務局

（国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ）

〒903-0806 沖縄県那覇市首里汀良町3-82-5-2F エーシーオー沖縄内

TEL：098-887-1333 / FAX：098-887-1334

Email: office@nuchigusui-fest.com / Web：www.nuchigusui-fest.com